



(小松)

石川・漆町遺跡 (C地区)

1 所在地 石川県小松市漆町

2 調査期間 一九八一年(昭56)四月～八月

3 発掘機関 小松市教育委員会

4 調査担当者 小村 茂・宮下幸夫・久生秀樹

5 遺跡の種類 集落跡

6 遺跡の年代 古墳時代前期・平安時代中・後期

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

漆町遺跡は、小松市街地の東方約1km、標高3mばかりの微高地上に営まれた弥生時代後期から中・近世にかけての複合遺跡である。一九七九年より県営

公害防除特別土地改良事業の実施に伴ない石川県立埋蔵文化財センターと小松市教育委員会が調査

区を定めて事業主体となり、発掘調査を実施した。

漆町(C地区)遺跡は、漆町遺跡の南辺に位置するが、調査を主線排水路施設範囲内に限定したため、発見された遺構の全容を知るまでには至らなかった。

木簡が検出された遺構は、低湿地(ほぼ南北に伸びる河川遺構と推定される)の東岸より約1mの斜傾地で、先端を河川中央に向けて発見された。須恵器杯及び須恵器転用硯が伴出しており、平安時代後期に比定している。

8 木簡の釈文・内容

・「依里物忌固物忌天罡急々如律令

・「依里物忌固物忌天罡急々如律令

ヒノキ材。下部が欠損している。

9 関係文献

石川県立埋蔵文化財センター 『漆町遺跡』

一九八二年 (小村 茂)

依里物忌固物忌天罡急々如律令